

接種の順番

いろいろな予防接種をどの順番に受けたらよいか迷うことも多いと思います。参考までに当院がおすすめするスケジュールを紹介します。①は1回目、②は2回目のことです。

- (1) **生後2か月** ヒブ① 肺炎球菌① B型肝炎①の同時接種 ロタウイルス①も一緒に受けられます。
ただしロタウイルスワクチンは**生後14週6日目**までに開始する必要があります。
- (2) **生後3か月** 3か月健診と同時に、ヒブ② 肺炎球菌② B型肝炎② 4種混合(DPT-IPV)①の同時接種。ロタウイルス②も一緒に受けられます。
- (3) **生後4か月** ヒブ③ 肺炎球菌③ 4種混合(DPT-IPV)②の同時接種
- (4) **生後5か月** 4種混合(DPT-IPV)③ BCGの同時接種
- (5) **生後8か月から10か月** B型肝炎③ (2回目の接種から5か月以上あけて、**1歳までに終了**)
- (6) **1歳になったら1歳健診**と同時に麻疹風疹① 水痘① おたふくかぜ①も一緒に受けられます。
- (7) (3) から7か月以上あけてヒブ④ 肺炎球菌④
- (8) (4) から1年後に4種混合(DPT-IPV)④
- (9) **2歳までに** 水痘② (1回目の接種から3か月以上あけて)
- (10) **3歳になったら** 日本脳炎①→約1か月あけて日本脳炎②
- (11) (10)の1年後に日本脳炎③
- (12) **小学校入学前の1年間に** 麻疹風疹②。おたふくかぜ②も一緒に受けましょう。
3種混合(DPT)⑤+不活化ポリオ(IPV)⑤の追加接種も推奨されています。
現行の4種混合(DPT-IPV)は5回以上の接種が認められていません。
- (13) **9歳になったら** 日本脳炎④
- (14) **11歳になったら** 2種混合(DT)もしくは**3種混合(DPT)**

他に毎年インフルエンザがあります。お子さんの健康状態、受ける(すでに受けた)ワクチンが生か不活か、病気の流行具合、なども考えてスケジュールを決めていくのですが、実際にわかりにくいことが多いと思います。どうぞお気軽にご相談ください。

松井小児科 (0743-74-2705)

接種間隔

ワクチンには生きた細菌やウイルスを弱毒化した生ワクチンと殺して有効な成分だけを取り出した不活化ワクチンがあります。一般に生ワクチンの方がウイルスが生きている分効果が強いですが、発熱などの症状がでることがあります。不活化ワクチンは副作用がほとんどないかわりに効果が長続きせず、追加接種が必要です。生ワクチンか不活化ワクチンで次の予防接種までの間隔が変わるので注意が必要です。

不活化ワクチン→ 次の予防接種まで 1週間以上あける。

生ワクチン→ 次の予防接種まで 4週間以上あける。

普通のかぜなら**解熱後1週間以上**たっていて全身状態がよければ、かぜ症状が残っていても受けられますが、麻疹、風疹、水痘などの罹患した場合 **1か月程度**は接種を控えます。川崎病などの治療でガンマグロブリン大量療法を受けた場合は接種まで **6か月以上**の間隔をあけます。